

「防災教育テキスト」を活用した防災教育

学 校 名	山陽小野田市立津布田小学校	実施時間	学級活動（2年）
-------	---------------	------	----------


1 ねらい

- 児童が家庭にいるときに大きな地震が起こった場合、どのような行動をとるべきかを考えさせ、実際に大きな地震が起きた場合に適切な避難行動がとれるようにする。

2 展開

学習内容・活動	教師の働きかけ	指導上の留意点
1 地震についてのアンケート結果を見て話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災教育テキストを読んで、東日本大震災の様子を伝え、地震は、いつ、どこで起こるか分からないことを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真資料等を通して、大地震の被害の様子を知らせる。</li> </ul>

家で、じしんがおきたら、どのようにひなんしたらよいでしょう。

<p>2 家にいるときに大きな地震が起きた場合の避難の方法について話し合う。</p> <p>(1) この部屋で考えられる危険</p> <p>(2) 揺れが収まるまでの行動</p> <p>(3) (1)の危険から身を守るための備え</p> <p>(4) 揺れが収まった後の避難の方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害安全KYT資料⑥の絵をプロジェクターで提示し、指定した状況で、対処の仕方を考えさせる。</li> <li>・これまでの避難訓練の経験を想起させ、テーブル等の下に潜って、頭部を保護することを押さえる。</li> <li>・地震により火災が発生することも想定させ、避難訓練や「おかしもち」の行動を生かすことの大切さに気付かせる。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の命を守るために、「物が落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」場所に身を寄せることの重要性を考えさせる。</li> <li>・低学年児童が自分でできることとして、落下の恐れがあるものを置かないことや、整理整頓することの大切さに気付かせる。</li> </ul>
<p>3 家で地震が起きた際に自分がとるべき行動についてのめあてを立てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の家や家族を想起させて、めあてを立てさせる。</li> <li>・「めあてカード」に記入させることで、防災に対する意識を高めさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の命を守るための備えを最優先して、めあてを立てるよう助言する。</li> </ul>
<p>4 教師の話聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段から、地震に対する備えや心構えをもつことの大切さについて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災教育テキストの【ひじょうもち出し品】のチェックリストを使って確かめさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭での防災グッズや地域の避難場所を確認させる。</li> </ul> 